

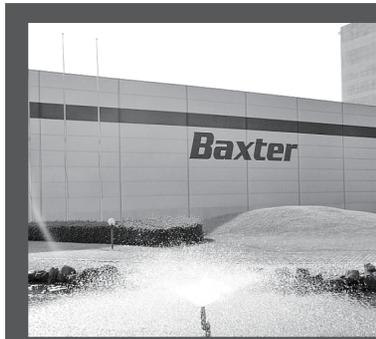
工場設立  
30周年

新春特集

日本における腹膜透析療法のパイオニア  
在宅透析製品の製造で患者さんを支える

# バクスター株式会社宮崎工場

# Baxter



バクスター株式会社 宮崎工場  
〒889-1601 宮崎市清武町木原4584番1号  
TEL 0985-85-7711 FAX 0985-85-5556

## 【宮崎工場の沿革】

- 1990 腹膜透析液 第1ライン製造開始
- 1992 腹膜透析液 第2ライン製造開始
- 1994 心臓血管製品製造開始
- 1996 心臓血管製品製造拡張
- 2002 心臓血管製品部門分社
- 2004 中性腹膜透析液 第1ライン製造開始
- 2005 中性腹膜透析液 第2ライン製造開始
- 2008 CAPDコールセンター東京より移転  
技術サービスセンター東京より移転

主に就寝中にPD治療を行う患者さんがお使いになるある療法だといふ自動腹膜灌流装置や治療をサポートする腹膜灌流用治療器のメンテナン間は数年〜10年スや修理を担っています。以上と患者さんCAPDコールセンターによって変わりは、先程のPD治療に使われる機器をお使いになるはHDとの併用際の疑問点や使用方法に関やHDへの移行が必要となると、365日24時間体制で承っております。PD治療は患者さんが毎日「それぞれの特に行う治療法です。命にかか



「医療品製造に携わる者としては当然ですが、患者さんの命のために、全員誇りを持って仕事に取り組んでいます」  
バクスター株式会社  
執行役員 生産本部長 製品開発センター兼務  
**末吉 浩司**氏

●プロフィール  
1960年宮崎市生まれ。関東の大学を卒業後、某大手電機メーカーに入社し、コンピューターの周辺機器の製造技術に携わる。故郷宮崎へのUターンを考え、1988年同社に入社。宮崎工場が更地の頃から勤務し、エンジニアリング、製品開発を経験。製造部長を経て2017年2月より現職。

「腹膜透析液をつくるには水がとて重要になります。ハイテクパーク専用の水源を確保していただき常に安定供給に努め、製品の安定供給に努めています。また温暖な気候で水の凍結や雪の心配がいないことや、災害に強い高台にあることも工場や清武町長さん達の地元一丸となった熱心な誘致活動もあり、また豊富で良質な水資源に恵まれていることが決め手となり、宮崎に決まると聞き及んでいます。決定に際しましては、ゲで管理の行き届いた工場に、どのようなかシヨロバル本社のある米国の担当も現地視察に訪れ非常に気に入ったそうです。末吉 宮崎工場には製造工

「世界で初めてバクスターが実用化した腹膜透析」

「ところで透析療法とは、末吉 日本では成人の8人に1人が慢性腎臓病といわれ、末期腎不全に至ると腎移植または人工透析が必要となります。透析は移植を受けられない限り生涯続ける治療です。現在血液透析(HD)と腹膜透析(PD)の2種類がありますが、血液透析は通常1日4〜5時間の透析を週3回医療機関に通って行うもので、皆さんか、地域貢献にも熱心か、

「今後の抱負」

「最後に、今後の抱負を…」

「腹膜透析のことを末吉、腹膜透析のことは、普及に繋がればと30分のミーティングによる目標達成へのサポートなど、普及に繋がればと行なっています。入社時、透析患者数は約33万人といわれていますが、PDの割合は3%です。欧米では10%です。欧米でい製品をお届けする努力を重ねていくことで宮崎工場もさらに大きくなり、雇用も拡大を通して、地元へもより一層貢献できると思っております。宮崎工場設立30周年を機に更なる充実を図り、地域社会との交流も行う必要とされる資格は多数あり、一昨年あたりから自

「腹膜透析液をつくるには水がとて重要になります。ハイテクパーク専用の水源を確保していただき常に安定供給に努め、製品の安定供給に努めています。また温暖な気候で水の凍結や雪の心配がいないことや、災害に強い高台にあることも工場や清武町長さん達の地元一丸となった熱心な誘致活動もあり、また豊富で良質な水資源に恵まれていることが決め手となり、宮崎に決まると聞き及んでいます。決定に際しましては、ゲで管理の行き届いた工場に、どのようなかシヨロバル本社のある米国の担当も現地視察に訪れ非常に気に入ったそうです。末吉 宮崎工場には製造工

「国内製造工場」

「バクスター唯一の国内製造工場」

「まず製造工場は国内唯一の工場であり、2つのラインで国内に提供する腹膜透析液を製造しております。工場見学に訪れるドクターの中には「透析液を日本で作っているのか」と驚かれる方もいらっしゃいます。製品開発センターでは透析製品の開発、改良を行なっており、環境負荷を少なくしながら透析液の品質を保つ非塩ビ製の透析液バッグもここで開発したものです。

「社内外での活発な地域貢献」

「腹膜透析のパイオニアとして、患者さんのQOLの向上に貢献している御社で、地域貢献にも熱心か、

「今後の抱負」

「最後に、今後の抱負を…」

「腹膜透析のことを末吉、腹膜透析のことは、普及に繋がればと30分のミーティングによる目標達成へのサポートなど、普及に繋がればと行なっています。入社時、透析患者数は約33万人といわれていますが、PDの割合は3%です。欧米では10%です。欧米でい製品をお届けする努力を重ねていくことで宮崎工場もさらに大きくなり、雇用も拡大を通して、地元へもより一層貢献できると思っております。宮崎工場設立30周年を機に更なる充実を図り、地域社会との交流も行う必要とされる資格は多数あり、一昨年あたりから自

「腹膜透析液をつくるには水がとて重要になります。ハイテクパーク専用の水源を確保していただき常に安定供給に努め、製品の安定供給に努めています。また温暖な気候で水の凍結や雪の心配がいないことや、災害に強い高台にあることも工場や清武町長さん達の地元一丸となった熱心な誘致活動もあり、また豊富で良質な水資源に恵まれていることが決め手となり、宮崎に決まると聞き及んでいます。決定に際しましては、ゲで管理の行き届いた工場に、どのようなかシヨロバル本社のある米国の担当も現地視察に訪れ非常に気に入ったそうです。末吉 宮崎工場には製造工

「国内製造工場」

「バクスター唯一の国内製造工場」

「まず製造工場は国内唯一の工場であり、2つのラインで国内に提供する腹膜透析液を製造しております。工場見学に訪れるドクターの中には「透析液を日本で作っているのか」と驚かれる方もいらっしゃいます。製品開発センターでは透析製品の開発、改良を行なっており、環境負荷を少なくしながら透析液の品質を保つ非塩ビ製の透析液バッグもここで開発したものです。

「社内外での活発な地域貢献」

「腹膜透析のパイオニアとして、患者さんのQOLの向上に貢献している御社で、地域貢献にも熱心か、

「今後の抱負」

「最後に、今後の抱負を…」

「腹膜透析のことを末吉、腹膜透析のことは、普及に繋がればと30分のミーティングによる目標達成へのサポートなど、普及に繋がればと行なっています。入社時、透析患者数は約33万人といわれていますが、PDの割合は3%です。欧米では10%です。欧米でい製品をお届けする努力を重ねていくことで宮崎工場もさらに大きくなり、雇用も拡大を通して、地元へもより一層貢献できると思っております。宮崎工場設立30周年を機に更なる充実を図り、地域社会との交流も行う必要とされる資格は多数あり、一昨年あたりから自

「腹膜透析液をつくるには水がとて重要になります。ハイテクパーク専用の水源を確保していただき常に安定供給に努め、製品の安定供給に努めています。また温暖な気候で水の凍結や雪の心配がいないことや、災害に強い高台にあることも工場や清武町長さん達の地元一丸となった熱心な誘致活動もあり、また豊富で良質な水資源に恵まれていることが決め手となり、宮崎に決まると聞き及んでいます。決定に際しましては、ゲで管理の行き届いた工場に、どのようなかシヨロバル本社のある米国の担当も現地視察に訪れ非常に気に入ったそうです。末吉 宮崎工場には製造工

「国内製造工場」

「バクスター唯一の国内製造工場」

「まず製造工場は国内唯一の工場であり、2つのラインで国内に提供する腹膜透析液を製造しております。工場見学に訪れるドクターの中には「透析液を日本で作っているのか」と驚かれる方もいらっしゃいます。製品開発センターでは透析製品の開発、改良を行なっており、環境負荷を少なくしながら透析液の品質を保つ非塩ビ製の透析液バッグもここで開発したものです。

「社内外での活発な地域貢献」

「腹膜透析のパイオニアとして、患者さんのQOLの向上に貢献している御社で、地域貢献にも熱心か、

「今後の抱負」

「最後に、今後の抱負を…」

「腹膜透析のことを末吉、腹膜透析のことは、普及に繋がればと30分のミーティングによる目標達成へのサポートなど、普及に繋がればと行なっています。入社時、透析患者数は約33万人といわれていますが、PDの割合は3%です。欧米では10%です。欧米でい製品をお届けする努力を重ねていくことで宮崎工場もさらに大きくなり、雇用も拡大を通して、地元へもより一層貢献できると思っております。宮崎工場設立30周年を機に更なる充実を図り、地域社会との交流も行う必要とされる資格は多数あり、一昨年あたりから自



「腹膜透析液をつくるには水がとて重要になります。ハイテクパーク専用の水源を確保していただき常に安定供給に努め、製品の安定供給に努めています。また温暖な気候で水の凍結や雪の心配がいないことや、災害に強い高台にあることも工場や清武町長さん達の地元一丸となった熱心な誘致活動もあり、また豊富で良質な水資源に恵まれていることが決め手となり、宮崎に決まると聞き及んでいます。決定に際しましては、ゲで管理の行き届いた工場に、どのようなかシヨロバル本社のある米国の担当も現地視察に訪れ非常に気に入ったそうです。末吉 宮崎工場には製造工

「国内製造工場」

「バクスター唯一の国内製造工場」

「まず製造工場は国内唯一の工場であり、2つのラインで国内に提供する腹膜透析液を製造しております。工場見学に訪れるドクターの中には「透析液を日本で作っているのか」と驚かれる方もいらっしゃいます。製品開発センターでは透析製品の開発、改良を行なっており、環境負荷を少なくしながら透析液の品質を保つ非塩ビ製の透析液バッグもここで開発したものです。

「社内外での活発な地域貢献」

「腹膜透析のパイオニアとして、患者さんのQOLの向上に貢献している御社で、地域貢献にも熱心か、

「今後の抱負」

「最後に、今後の抱負を…」

「腹膜透析のことを末吉、腹膜透析のことは、普及に繋がればと30分のミーティングによる目標達成へのサポートなど、普及に繋がればと行なっています。入社時、透析患者数は約33万人といわれていますが、PDの割合は3%です。欧米では10%です。欧米でい製品をお届けする努力を重ねていくことで宮崎工場もさらに大きくなり、雇用も拡大を通して、地元へもより一層貢献できると思っております。宮崎工場設立30周年を機に更なる充実を図り、地域社会との交流も行う必要とされる資格は多数あり、一昨年あたりから自

